

「家庭の日」作文コンクール入賞者

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、その啓発事業として「家庭の日」作文コンクールを実施したところ、次の皆さんが入賞しました（敬称略）。

問 生涯学習課（☎62-1036）

【最優秀】（6人）

「お寺の子に生まれて」 日下専浄（衣浦小4年）

「とどけ！わたしのプレゼント」 石原好（小垣江東小5年）

「あふれた思い」 柴田あおい（小垣江東小6年）

「私の祖父」 城野若沙（依佐美中1年）

「父の手 父の温もり」 近藤彩芙（雁が音中2年）

「僕のおじいちゃん」 兵藤煌輝（富士松中3年）

【優秀】（6人）

「日じょうの大切さ」 角岡優衣（東刈谷小4年）

「おみそねかせ中」 内田敦也（富士松北小5年）

「想いのこもったおにぎり」 近藤彩扶真（かりがね小6年）

「絆」 近藤優之助（富士松中1年）

「強い祖父」 田中有那（刈谷東中2年）

「家族の明るい未来のために」 松原里紗（依佐美中3年）

【入選】（51人）

加藤里奈海・福田芽唯（亀城小）、蔵満咲南・川口源太郎・

角谷虹奈（小高原小）、小林瑞希・三浦叶翔・原匠吾（日

高小）、鈴木葵子・杉浦茉弥（衣浦小）、尾嶋晟・佐藤匠真・

柴田華奈（住吉小）、水野樹里・高須亮成（かりがね小）、

伊藤夏那・二宮悠輝・池田来聖（平成小）、安藤こはる・

安藤花恋・吉本依里（富士松南小）、大山陽南・大脇鳴桜（富

士松北小）、前田大雅・竹内彩晴・近藤舞陽（富士松東小）、

寺澤悠翔・毛内彩乃・北瑠葵亜（小垣江小）、山本麗翔

（小垣江東小）、雨森風紗・平野尋惟・田中愛羽（双葉小）、

野崎真央・下村航（東刈谷小）、川崎真依加・伊坂彩登・

杉浦千紗季（朝日小）、森田篤生・敷井柚季・小笠原楓（刈

谷南中）、木下ほたる・近藤礼菜（刈谷東中）、本泉佳寛

（富士松中）、村上颯・前山結奈（雁が音中）、江坂茉奈（依

佐美中）、岡本理希・尾間すず・稲垣和波（朝日中）

「僕のおじいちゃん」 富士松中学校3年 兵藤煌輝

僕の祖父は、今年で七十五歳だ。祖父は「また大きくなったか？」

特定疾患に指定されている「重症筋無力症」と、言っていたのに、今の祖父は僕を見る余裕がないほどに元気がない。そして、ほとんど喋らない。

今年の夏の入院後の祖父は、ご飯を部屋で食べるようになった。台所まで移動する廊下の暑さで参ってしまったのだ。それもそのはずだ。食べる量が減って、痩せ細ってしまったからだ。体力がないから暑さに弱い。食べるものと食べないもの、冷めず、お寿司。力が付くはずもなく、食べられるものを食べているだけでもマシかもしれない。

先日のおんが祭りの花火を家族みんなで見た。年に一度、コロナ以来の元通りの花火大会だ。祖父も部屋から出てきて台所の窓から一緒に見た。いつもの祖父の席から花火が見えづらかったのだ。祖母とお母さんと祖父の椅子を花火が見える位置に移動させた。祖父は後何回おんが祭りの花火を見ることができのだろうか。ふと、そう思った。

徐々に弱っていく祖父に、僕は何をしてあげられるだろう。医者じゃないから祖父の症状をよくしてあげることはできない。僕がしたい。将棋をしていた頃は祖父より小さいかった僕の背は、祖父を見下ろすほどになった。一緒に住んでいても、祖父が立った状態で僕とすれ違う機会も少なくなった。以前は、

最近の祖父は特に体が弱ってきて、一日中寝てばかりで、部屋から出るのはトイレへ行く時か、ご飯を食べに台所に来るくらいだ。将棋をしていた頃は祖父より小さかった僕の背は、祖父を見下ろすほどになった。一緒に住んでいても、祖父が立った状態で僕とすれ違う機会も少なくなった。以前は、